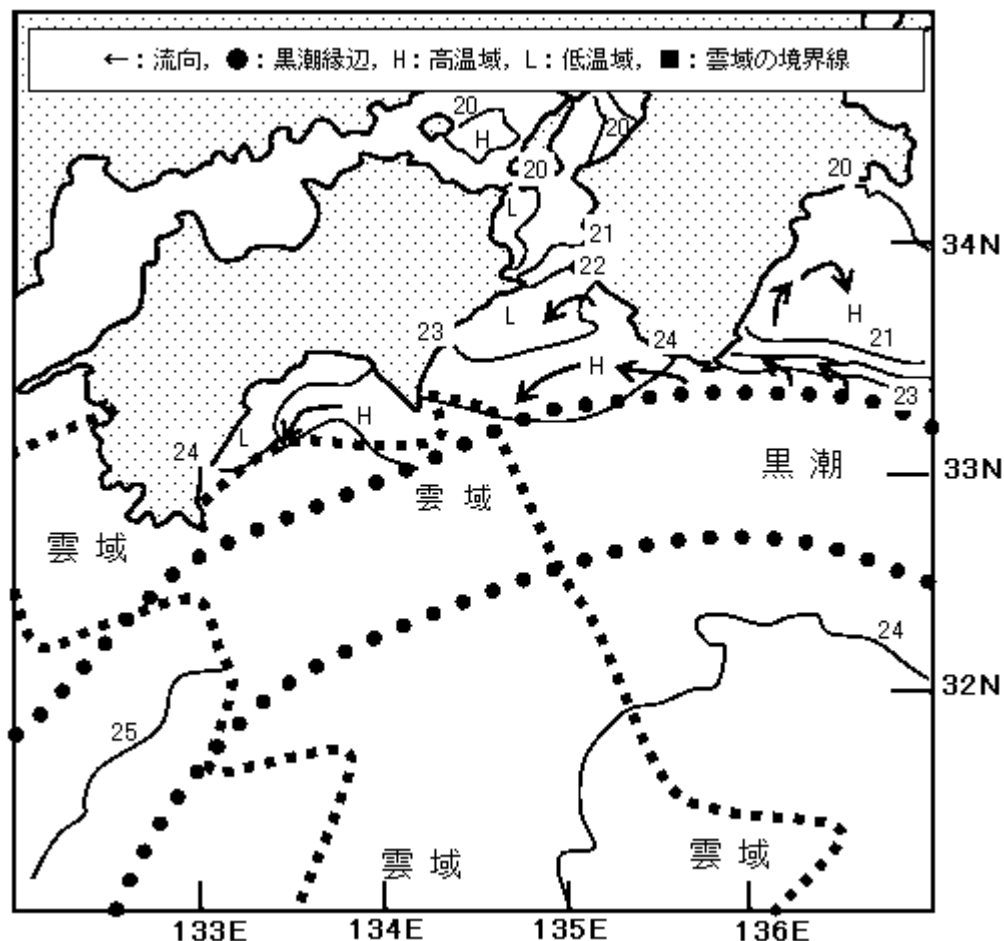


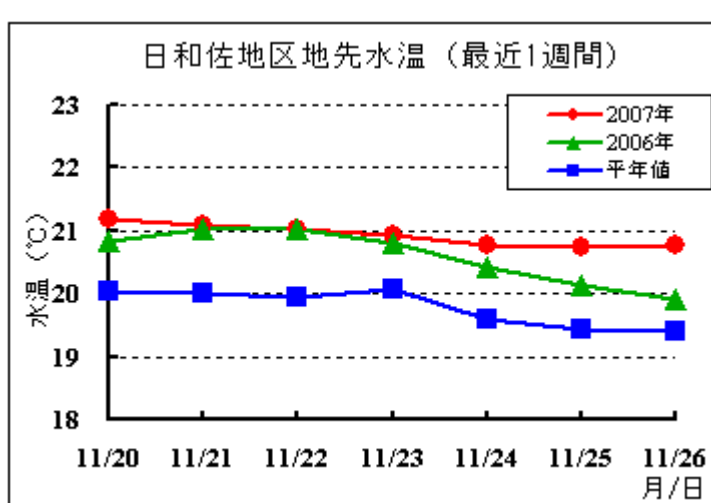
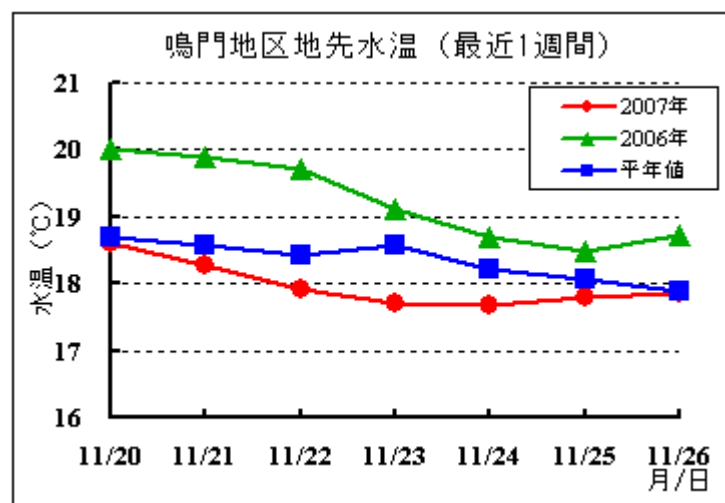
1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星海況速報(H19.11.18~19)を示した。
 黒潮は室戸岬沖および潮岬沖ともに接岸している。黒潮本流の表面水温は23~24℃台である。
 表面水温は播磨灘が19~20℃台、紀伊水道内部が19~21℃台、外域は、22~23℃台となっている。
 潮岬沖の黒潮からの暖水が反時計回りに紀伊水道外域へ入流している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」~「平年並み」の17.7~18.6℃、日和佐地区は「やや高め」の20.8~21.2℃、牟岐地区は「やや高め」の20.3~21.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

海部沿岸で、釣り、小型定置網ともにアオリイカがまとまって水揚げされている。

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが1.0トン(1日1隻あたり43kg)、大、中主体にアカアマダイが0.7トン(同31kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが1.3トン(同22kg)、アカカマスが0.6トン(同320kg)、マアジが0.4トン(同173kg)水揚げされた。現在、海部沿岸において、小サイズのアオリイカがまとまって水揚げされている。

大型定置網:海部沿岸で、マアジが0.5トン(同80kg)、マルソウダが0.4トン(同74kg)、小主体にタチウオが0.2トン(同40kg)水揚げされた。

すくい網:海部沿岸で、カワハギが0.5トン(同50kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にアオリイカが1.1トン(同8kg)、特大主体にカツオが0.9トン(同105kg)、タチウオが0.8トン(同30kg)、キハダが0.3トン(同86kg)、紀伊水道で大主体にサワラが1.8トン(同27kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが57.8トン(同438kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 11月19日～11月25日 県下8協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	24	1,035	43	大主体
		アカアマダイ	22	679	31	大、中主体
小型定置網		アオリイカ	59	1,298	22	
		アカカマス	2	640	320	
		マアジ	2	345	173	
大型定置網		マアジ	6	477	80	
		マルソウダ	6	443	74	
		タチウオ	6	243	40	小主体
釣り		アオリイカ	131	1,101	8	中主体
		カツオ	9	943	105	特大主体
	タチウオ	27	809	30		
	キハダ	4	345	86		
	紀伊水道	サワラ	66	1,797	27	大主体
パッチ網		シラス	132	57,750	438	

週間予報:

黒潮は室戸岬沖および潮岬沖ともに接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「平年並み」の17℃台、日和佐地先が「やや高め」の20℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでメジロが1.0トン(1日1隻あたり12kg)、パッチ網でシラスが12.1トン(同173kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、サバ類が4.7トン、メジカが7.9トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上